

暑さ到来【管理者 太田さとみ】

▼風薫る五月、北海道に過ぎしやすく爽やかな季節到来です…。のはずでしたが今年は、少し違ったようでした。

26日佐呂間で観測史上初めての39.5度の気温が観測されその後も何日か暑い日が続きました。異常気象との言葉も最近では耳慣れしており、全国的に暑い夏が定着してきているように思います。

北海道でも最近では、30度を超える「真夏日」が多くなってきました。とはいっても五月で猛暑日になつては、この夏乗り越えられるかがちょっと不安です。

▼異常気象は各地に様々な被害をもたらします。台風がめつたに来ないとされている北海道に近年毎年のように被害をもたらします。収穫前の農産物が多く被害に合い、離農する人たちが多くなり、荒れた田畑があちこちで見られるようになりました。そんな中、施設の校庭にじやがいも畑を作りました。隣の農家の方にトラクタで耕作していただき、校庭の片隅が畑へと変貌しました。北海道が推奨している農福連携の小さな小さな一歩です。

みんなが気に掛け、毎日畑を見ては、収穫の秋を楽しみにしています。

九連休のゴールデンウィーク

ク、休み慣れしていない方にとって長すぎるかなとの声も聴きました。学生時代ぶりの長い連休となり久しぶりに羽を伸ばせるかと思つて楽しみにしていました。実際に連休に入つてみると時間をもてあそんでしまう程、退屈というのが第一声でした。これから先長い連休をどのように充実させて過ごすかが課題となります。(支援員 今泉)

「農福連携」とは？

「農業」と「福祉」の連携は農業従事者の減少や耕作放棄地の増加に対して障がい者が農業に携わる事で補うと共に、就業機会の確保や収入増加になると道が推奨しています。

一次産業だけに留まらず六次化に発展させてこそ農福連携なのだと思ひます。

KAKA's FACTORY の名前は…

社会福祉法人愛篤福祉会のコンセプトは「みんなが幸せになる」です。障害を持って生まれた子もその子を見守る家族もみんなが幸せにの願いを込めて、先の東日本大震災がきっかけで、原発からの避難所として、北海道に事業所を開設いたしました。その際3名のお母さんと障がいのある子が家族をいわきに残して幸せをつかむために北海道に来ました。北海道弁でお母さんを「かかあ」と呼びます。3名のお母さんなので複数系を用いてカカズとなりました。中央のマークは、母が子を見守る様子をマークにしました。

風だより

▼五月の連休明け頃から林の中や、校庭の木々から『いわき』で夏の終わりごろに聞くヒグラシの鳴き声が聴こえてきます。

初めて聞いた時は、あれ！夏が終わってしまうの？と勘違いしてしまう程でした。ヒグラシと同様に、エゾハルゼミという種類の蝉も同時期鳴いています。短い北海道の夏を先取りにしたかのように、競って鳴いているように聞こえます。

▼蝉の鳴き声を聞く頃は、田舎ならではの風景が辺り一面に広がり、家々の周りには、パピルスやチュウリップが咲き揃いようやく来た春を人も生物も楽しんでます。



KAKA' s FACTORY に 畑ができました!!

何ができるかなあ？



今年は、じゃがいも
メイクインに挑戦だー!!

完成をお楽しみに
(^o^)



作業の 様子

★ 農 作 業 ★
二人で力合わせて頑
張ってるよ(o)/



★ 農 作 業 ★
メロンの血洗い!! まだ
水は冷たいよ(T_T)



★ 箱 つ く り ★
いつもと違う箱にも
挑戦するよ(#`´#)

★ 清 掃 ★
川端駅のトイレ清掃
もやってるよ!

★ 箱 つ く り ★
箱折りももうお手の物
なんだよー(o)

